

青梅市文化財ニュース

第349号

平成28年11月15日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土博物館（青梅市駒木町 1-684 TEL0428-23-6859）

青梅市立第六小学校「運動会も終りたり」の歌

市内二俣尾3丁目にある青梅市立第六小学校の運動会では、閉会式の前に「運動会も終りたり」という種目があります。校庭の中央に校長先生が立ち、全校生徒が手をつないで輪をつくり、「運動会も終りたり」という歌を歌いながら、校長先生の周りを左右交互にまわります。この歌は古くから歌われており、年齢が80歳代後半の卒業生も歌ったと言います。

運動会のプログラムの校歌には作詞・作曲者が書いてありますが、「運動会も終りたり」の歌には作詞・作曲者が書かれていません。第六小学校でも詳しいことはわからないとのことでした。この歌を誰が作り、いつ頃から第六小学校で歌われているか、聞き取り調査をしましたので、結果を報告します。

調査によると、この歌は、昭和10年2月から昭和19年2月まで三田村立三田尋常高等小学校（現第六小学校）の校長であった新井福三先生が、前任校である西多摩郡多西村立多西尋常高等小学校（現あきる野市立多西小学校）で運動会に歌われていた「玲瓏れいろの水」という歌のメロディーを使い、歌詞を作り変えてできたものだそうです。新井福三先生は、昭和6年から昭和10年1月まで多西尋常高等小学校の校長でした。運動会のたびに聞いた「玲瓏の水」のメロディーを、赴任先の三田尋常高等小学校に伝え、「運動会も終りたり」の歌詞を新たに作らせたものと思われる。

三田尋常高等小学校では、昭和11年に運動場が拡張されています。運動場が大きくなり、運動会も盛大に行われるようになったことと思います。運動会を締めくくる歌として、昭和11年頃から「運動会も終りたり」は歌われ始めたのではないのでしょうか。

歌詞には、学校から見える御岳山の夕暮れと、楽しかった運動会を振り返り、わくわくしながら家路につく生徒の気持ちが表現されています。はじめは戦時色の現れた歌詞でしたが、戦後になり、一部を変えて現在の歌詞となりました。残念ながら、今回、作詞者が誰であるかという情報を得ることはできませんでした。

新井福三校長先生が三田尋常高等小学校に赴任して以来、三田国民学校、三田小学校、第六小学校と学校の名称は変わりましたが、「運動会も終りたり」の歌は80年近く、毎年歌い続けられてき

ました。

多くの卒業生がこの歌を覚えており、同窓会やクラス会でも最後に必ず歌うという話も聞きました。もちろん、今年も10月2日に第六小学校の運動会で、陽が西に傾く頃、生徒だけでなく保護者も加わり、全員で「運動会も終りたり」を歌いました。また、地域の人々にも親しまれていて、9月に行われた沢井地区の運動会でも参加者全員で歌ったそうです。

多西尋常高等小学校の「玲瓏の水」については、『多西小学校百年のあゆみ』に、「大正13年から昭和22年まで同校に赴任しておられた田中康久先生が作詞・作曲された歌で、運動会の応援歌として作られたものであるが、当時の児童は校歌であると考えていた」と記載されています。「玲瓏の水」は昭和初年から、多西尋常高等小学校で歌われていたようです。あきる野市立多西小学校の校長先生にお聞きしたところ、「玲瓏の水」は旧校歌であるが、昭和37年には現在の校歌ができたので、今は歌われていないとのことでした。校長先生は「玲瓏の水」が別の歌になり、現在も歌われ続けていることを知りたいへん驚いたと話しておられました。

運動会も終りたり

* () 内は現在の歌詞

- 1、日ははや西に 傾きて
紫におう 御岳山
日頃の手練 あらわして
運動会も 終りたり
- 2、力のかぎり 戦いし (きそいたる)
われ師とともに 手をくみて
多摩のほとりの 丘の上に
かちどき (うた声) あげん いざ共 (たからに)
- 3、たてし手柄 (楽しい思い) の かずかずに
誉は高し (力合わせし) 勝ちいくさ (運動会)
心さわやか 身もかるく
父母まつ家に いそがなん

玲瓏の水 (多西小旧校歌)

- 1、玲瓏の水 多摩川の
長き歴史は 幾百年
朝日に金波 おどる時
汲むにつきざる さとしあり
- 2、東海の神 富士の嶺よ
芙蓉の姿 うるわしく
夕陽赤く 映ゆるとき
仰ぐに高き おしえあり
- 3、大澄山に 秋深み
名月空に くももなく
むさしの原を 照らすとき
誰か心の にごるべき
- 4、さとしはつきず かの流れ
教えは高し 神の山
いざもろともに いそしみて
ほまれをあげん 多西校

今回の文化財ニュース作成に際し、青梅市立第六小学校 山木和也校長先生、あきる野市立多西小学校 高橋志夫校長先生、沢井市民センター前所長 市川民夫氏、三田小学校卒業生 福島和夫氏、多西尋常高等小学校卒業生、神森 正氏にご協力いただきました。ありがとうございました。

参考文献 『六小百年』 青梅市立第六小学校百年記念実行委員会 1977

『多西小学校百年のあゆみ』 多西小学校創立百周年記念事業協賛会 1974

『ふる里の歴史 資料No.62』 福島和夫

(文責 小島みどり)